

2014年3月期 第2四半期決算説明会

2013年11月14日

本日の内容



1. 2014/3月期 第2四半期連結決算の概要

代表取締役専務取締役 山下 隆

2. 2014/3月期 通期業績予想 および 今後の見通し

代表取締役社長 堺 美保

2014/3月期 第2四半期連結決算の概要

代表取締役専務取締役 山下 隆

2014/3月期 第2四半期 連結決算ハイライト



(): 為替影響額

単位: 億円

	2013/3月期 第2四半期	2014/3月期 第2四半期	増減額	前年比	期初予想	達成率
売上高	369	410	+41 (+18)	111.2%	410	100.2%
粗利益 対売上比	110 29.9%	121 29.6%	+11 (+3)	110.1%		
販管費 対売上比	94 25.6%	97 23.8%	+3 (+2)	103.4%		
営業利益 対売上比	15 4.3%	23 5.8%	+8 (+1)	150.9%	22	108.0%
経常利益 対売上比	15 4.3%	25 6.2%	+9 (+0)	160.9%	23	109.9%
純利益 対売上比	8 2.3%	16 4.0%	+7 (+0)	193.0%	12	136.1%

為替レート(US\$)

78.97円

98.65円

93.00円
(設定)

増収増益を達成し、期初予想も上回る結果に

※10月21日に、下記の通り業績予想修正を開示しております。

[売上高] 410.8 [営業利益] 23.7 [経常利益] 25.2 [純利益] 16.3

※金額は切り捨て表示をしております。

セグメント別 売上高・営業利益

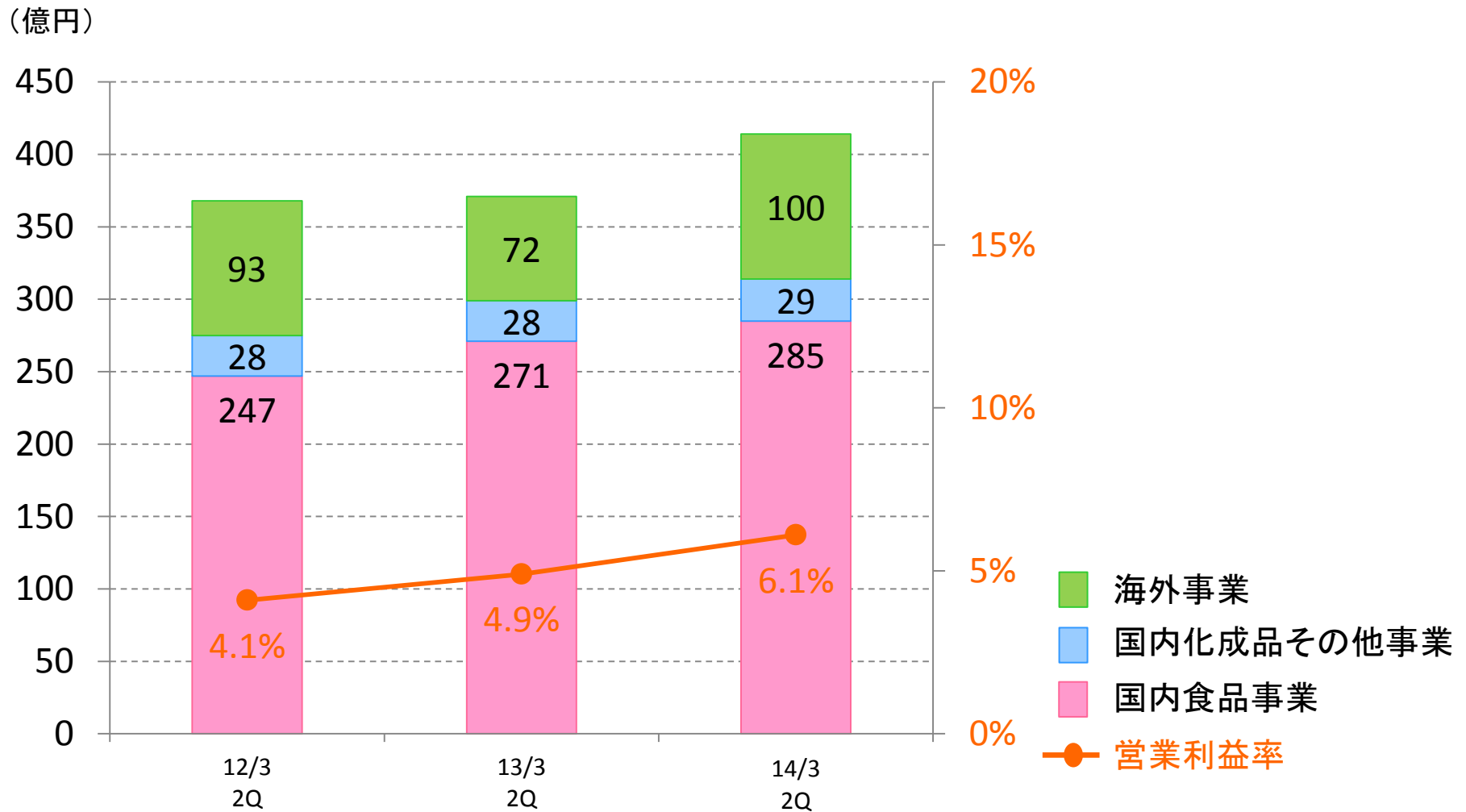
(): 構成比 []: 営業利益率

単位: 億円

	2013/3月期 第2四半期	2014/3月期 第2四半期	増減額	前年比
売上高	369	410	+41	111.2%
国内食品事業	271 (72.8%)	285 (68.8%)	+13	105.1%
家庭用食品	80 (21.7%)	87 (21.0%)	+6	108.1%
業務用食品	95 (25.7%)	99 (24.1%)	+3	104.1%
加工食品用原料等	94 (25.4%)	98 (23.7%)	+3	103.6%
国内化成品その他事業	28 (7.7%)	29 (7.1%)	+0	102.9%
海外事業	72 (19.5%)	100 (24.1%)	+27	138.2%
調整額(消去)	△3	△4	△1	—
営業利益	15 [4.3%]	23 [5.8%]	+8	150.9%
国内食品事業	15 [5.7%]	19 [6.7%]	+3	123.8%
国内化成品その他事業	1 [6.6%]	2 [8.7%]	+0	136.4%
海外事業	1 [1.4%]	3 [3.5%]	+2	342.5%
調整額(消去)	△2	△1	+1	—

※セグメント別構成比、営業利益率は調整前の数値を用いて算出

セグメント別業績推移



※数値は調整前のもので、営業利益率も調整前の数値を用いて算出

セグメント別売上高 主な増減要因①

国内食品事業 285【前年差+13 / 前年比105.1%】

単位: 億円

◆ 家庭用食品 【前年差+6 / 前年比108.1%】

- ・ 海藻 +3.4 - 「ふえるわかめちゃん」シリーズアイテムの新たな市場投入が奏功
- ・ ドレッシング +3.6 - 「青じそ」、「くせになるうま塩」をはじめとする市販ドレッシングの着実な実績化

◆ 業務用食品 【前年差+3 / 前年比104.1%】

- ・ 海藻 +2.4 - 「冷凍海藻」の販売が寄与
- ・ エキス・調味料 +0.6 - コンビニ・他社向けのエキスや、他社向けのシーズニングが伸長

◆ 加工食品用原料等 【前年差+3 / 前年比103.6%】

- ・ 食品改良剤 +0.8 - パン用・製菓用の加工油脂等が伸長
- ・ ビタミン +1.1 - 食品素材メーカー等向けのビタミンEが伸長
- ・ 健康食品 +1.2 - 他社向けの機能性食品素材が伸長

海藻商品と市販ドレッシングの伸長もあり、増収

セグメント別売上高 主な増減要因②

国内化成品その他事業 29【前年差+0 / 前年比102.9%】

単位: 億円

- ・ 化成品 +0.8 - 建築資材および食品用ラップ向けの改良剤が堅調に推移

ほぼ前年並みではあるものの、増収を確保

海外事業 100【前年差+27 / 前年比138.2%】

- ・ 海外販社 +13.9 (+11.7)
 - 各エリアの既存市場での深耕と、新市場の開拓・販売拡大への取組みの結果、実績化
- ・ 青島福生食品 +13.7 (+7.1)
 - 主要取引エリアである欧州の市場環境が回復基調に転じた事を受け、大きく伸長

(): 為替影響額

海外販社・青島福生食品ともに大きく伸長し、増収

海外事業売上高の状況

単位: 億円

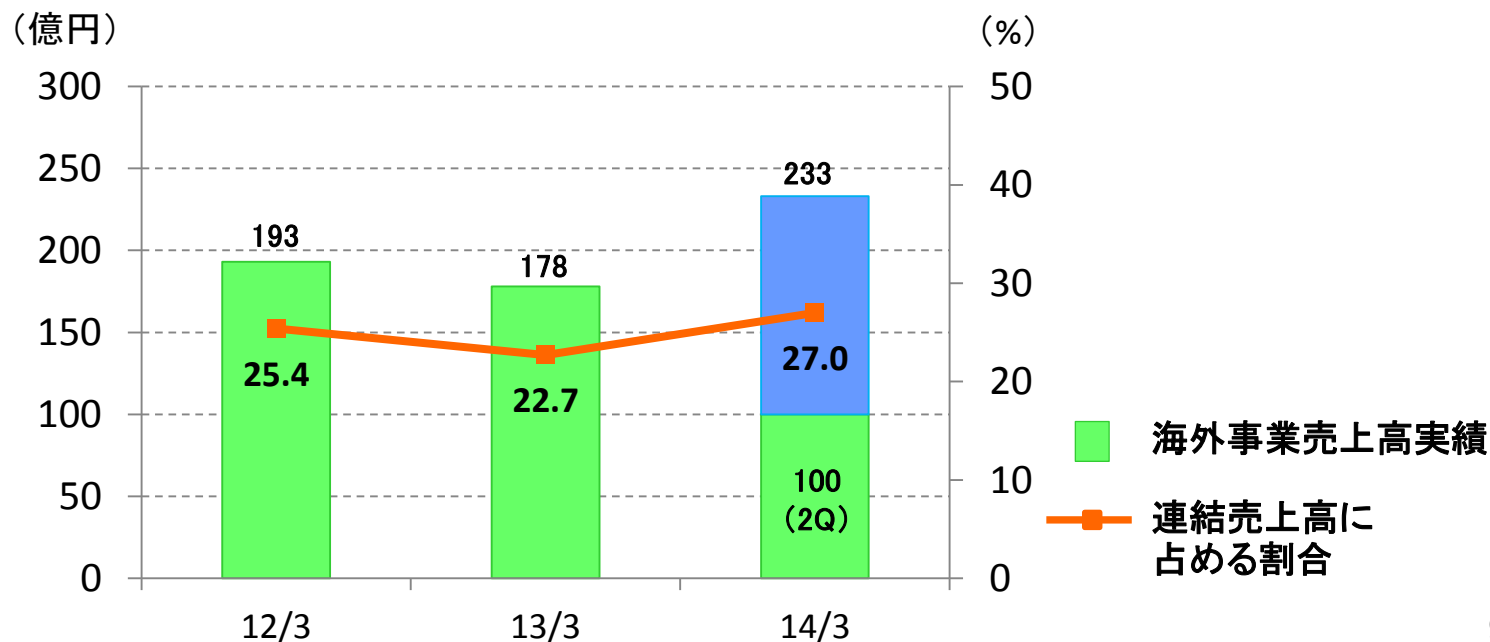
	2012/3月期 通期実績	2013/3月期 通期実績
海外事業売上高	193	178
販社(改良剤)	98	102
青島福生	95	75
連結売上高に 占める割合	25.4%	22.7%

2014/3月期 第2四半期
100
61
39
24.1%



2014/3月期 通期予想
233
130
103
27.0%

※数値は調整前のもので、割合も調整前の数値を用いて算出

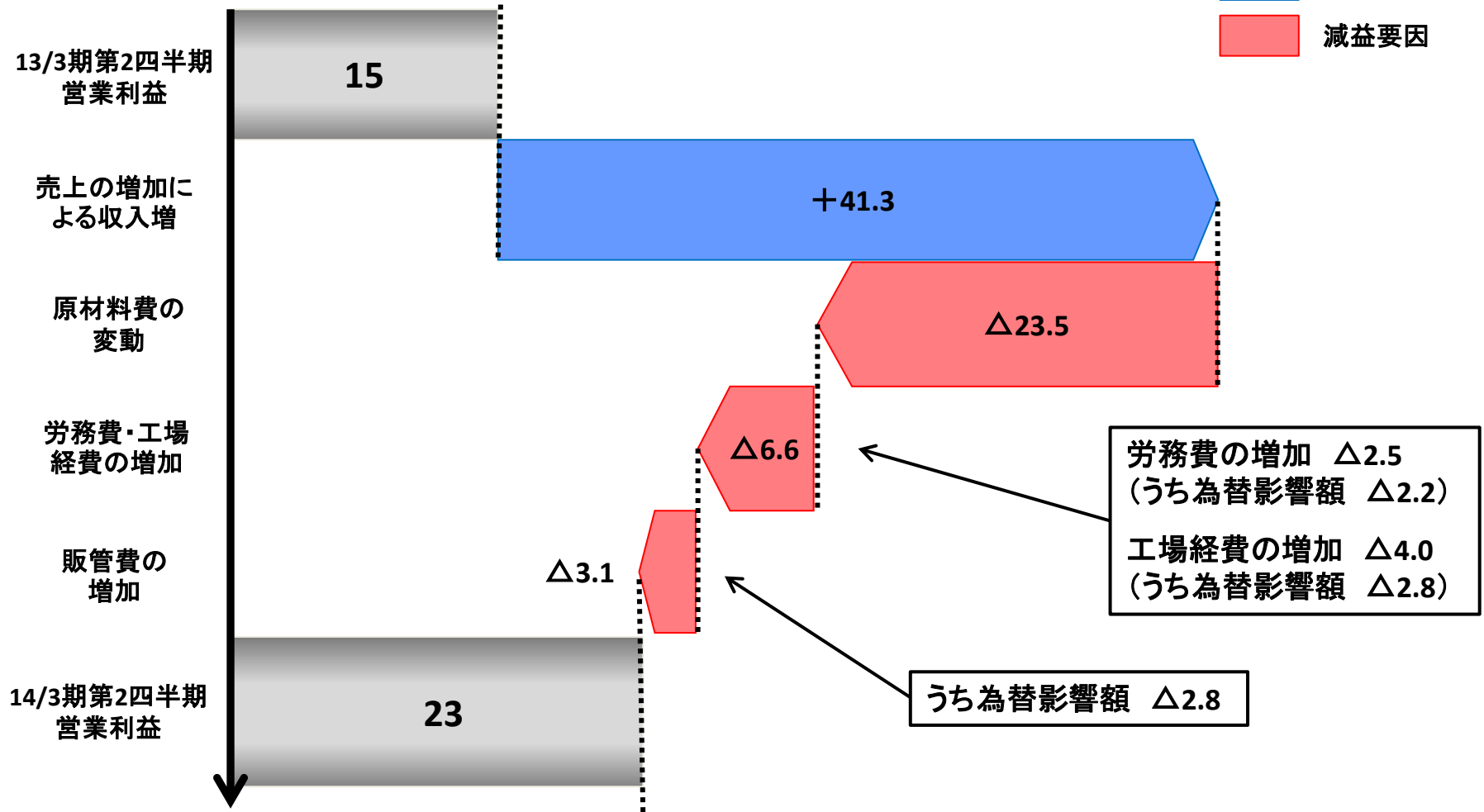


営業利益の増減要因分析



単位: 億円

増益要因
減益要因



連結貸借対照表

() : 為替影響額

単位: 億円

	2013/3月期 期末	2014/3月期 第2四半期末	増減額		2013/3月期 期末	2014/3月期 第2四半期末	増減額
流動資産	538	553	+15 (+19)	負債	335	352	+16 (+16)
現金及び預金	128	127	△1 (+3)	流動負債	280	281	+0 (+16)
受取手形及び売掛金	212	199	△12 (+3)	固定負債	54	71	+16 (△0)
たな卸資産	165	189	+24 (+11)	純資産	607	640	+33 (+11)
その他	31	36	+5 (+1)	株主資本	551	564	+12 (+0)
固定資産	404	438	+34 (+8)	その他の包括 利益累計額	50	71	+20 (+11)
有形固定資産	249	266	+16 (+7)	少数株主持分	5	5	+0 (+0)
無形固定資産	8	9	+1 (+0)				
投資その他の資産	145	162	+16 (+0)				
資産合計	942	992	+50 (+28)	負債純資産合計	942	992	+50 (+28)

為替レート(US\$)

94.05円

97.75円

94.05円

97.75円

連結キャッシュフロー計算書



単位: 億円

	2013/3月期 第2四半期	2014/3月期 第2四半期
現金及び現金同等物の期首残高	158	121
営業活動によるキャッシュ・フロー	6	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	6	23
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	2
現金及び現金同等物の期末残高	141	123

税金等調整前純利益	+25.5
減価償却費	+15.8
売上債権の減少	+20.0
たな卸資産の増加	△14.4
仕入債務の減少	△35.2
法人税等の支払	△10.1

有形固定資産の取得 △30.9

短期借入金の増加	+16.8
長期借入金の増加	+11.8
配当金の支払	△3.9

為替レート(US\$)

78.97円

98.65円

2014/3月期 通期業績予想 および 今後の見通し

代表取締役社長 堺 美保

中期経営計画 経営基本方針



更なる
企業価値の向上

グループ経営の推進→事業基盤強化

グローバルなフィールドでの成長

企業体質の強化

独自技術の活用 と 事業の選択と集中

高付加価値製品の追求

社会の信頼に
応える企業

健全な事業運営を推進する
コンプライアンス体制・ガバナンス体制

安全な製品の提供

- 1 中核事業での国内外マーケットシェア拡大と収益力の向上を目指す
- 2 海外事業を当社グループの成長エンジンと見据え、運営(開発・生産・販売)体制の強化を図る
- 3 品質保証体制の更なる強化を図り、顧客・消費者の信頼を高める
- 4 アライアンス・パートナーとの更なる事業推進を図る
- 5 CSR経営の一層の推進を図る

2014/3月期 通期業績予想(連結)



(単位:億円)

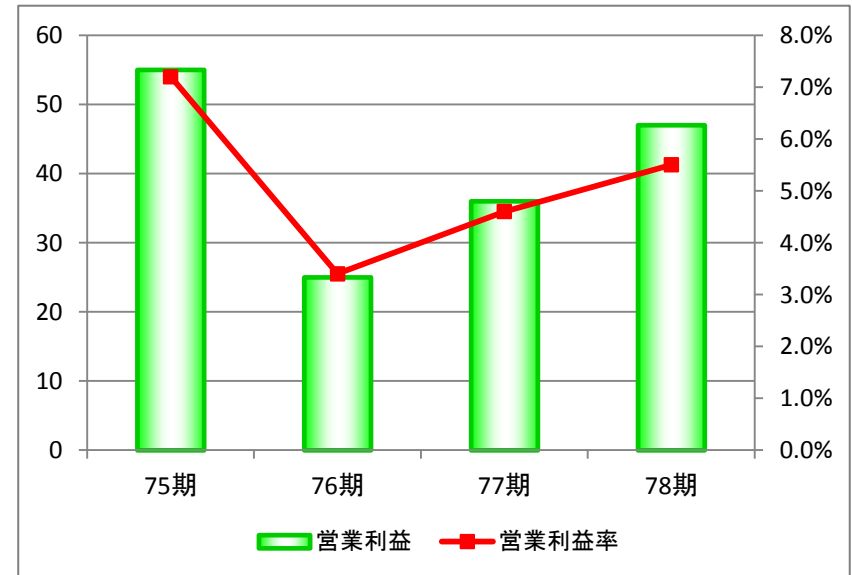
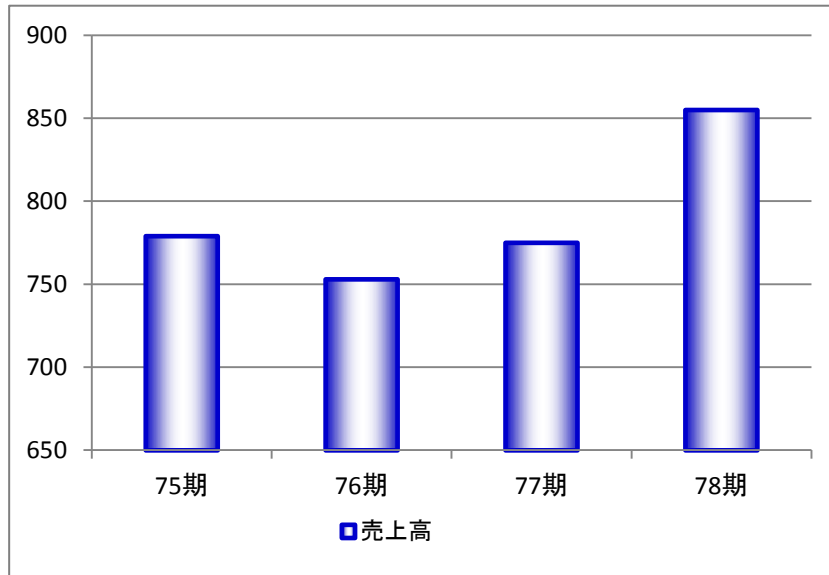
	75期 (2011/3)		76期 (2012/3)		77期 (2013/3)		78期 (2014/3)				
	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比	予想	売上比	77期差	77期比	為替差
売上高	779		753		775		855		+ 79	110.2%	+ 40
営業利益	55	7.2	25	3.4	36	4.6	47	5.5	+ 11	130.6%	+ 2
経常利益	57	7.3	28	3.8	37	4.8	48	5.6	+ 10	128.3%	+ 1
当期純利益	11	1.4	14	1.9	24	3.1	28	3.3	+ 3	116.4%	+ 1

為替レート

83.32円

(上) 98.65円 (中計策定時 80円)

(下) 100円



2014/3月期 通期セグメント別売上予想



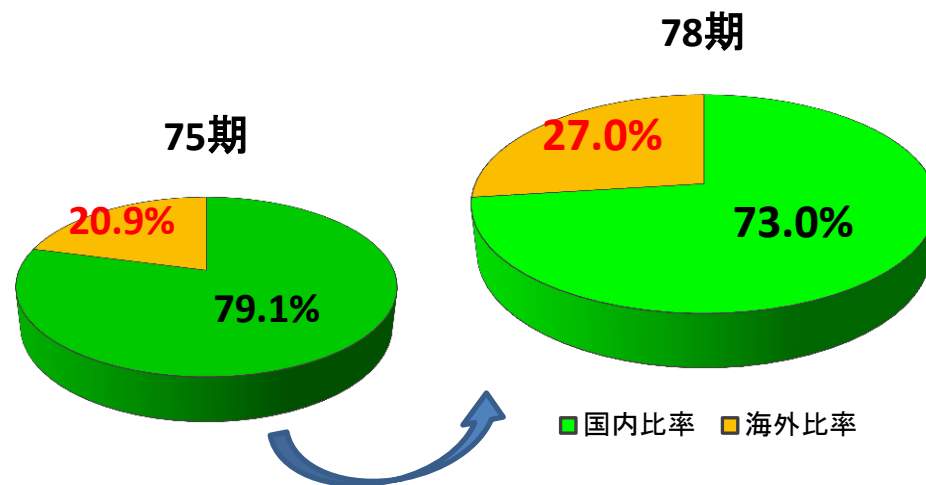
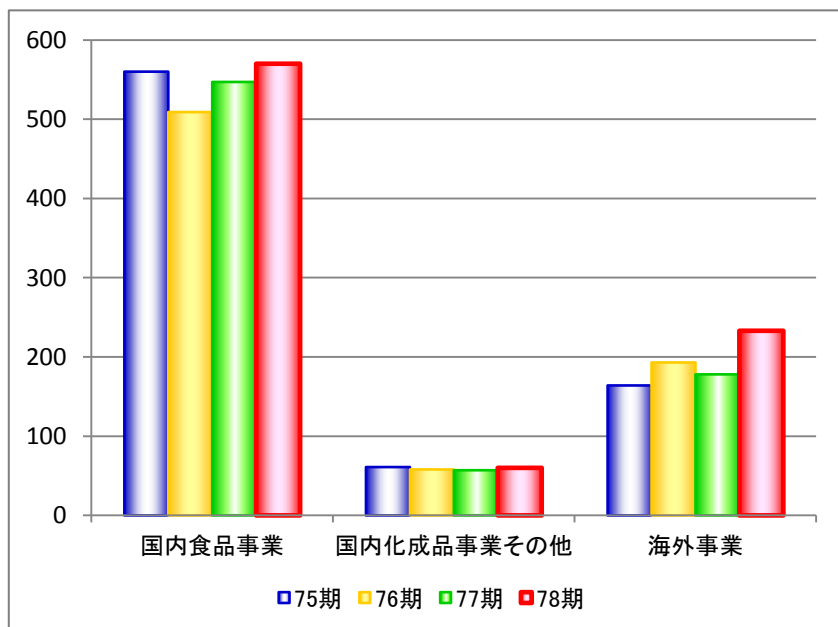
単位: 億円

	75期 (2011/3)		76期 (2012/3)	
	実績	構成比	実績	構成比
国内食品事業	560	71.3	509	66.9
家庭用食品	148		133	
業務用食品	217		187	
加工食品用原料他	194		188	
国内化成品その他事業	61	7.8	58	7.7
海外事業	164	20.9	193	25.4
調整額 (セグメント間消去)	▲ 6		▲ 7	
合 計	779		753	

77期 (2013/3)	
実績	構成比
547	69.9
156	
197	
192	
57	7.4
178	22.7
▲ 6	
775	

78期 (2014/3)			
予想	構成比	77期差	77期比
570	66.0	+ 22	104.2%
166		+ 9	105.8%
205		+ 7	104.0%
199		+ 6	103.1%
60	7.0	+ 2	104.1%
233	27.0	+ 54	130.9%
▲ 8		▲ 1	
855		+ 79	110.2%

為替差
+ 40
▲ 0
+ 40



2014/3月期 通期セグメント別営業利益予想



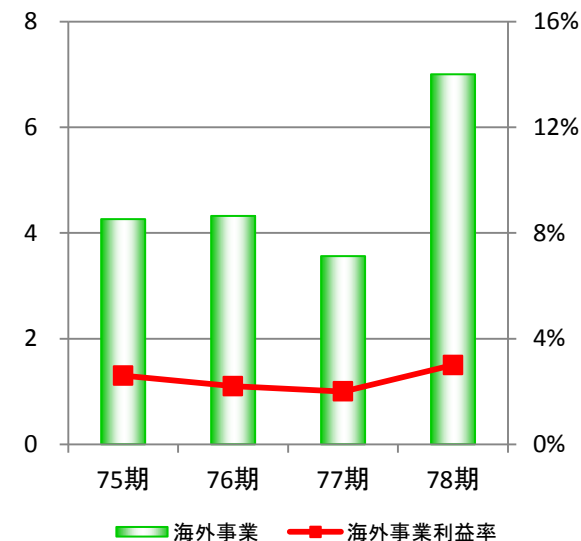
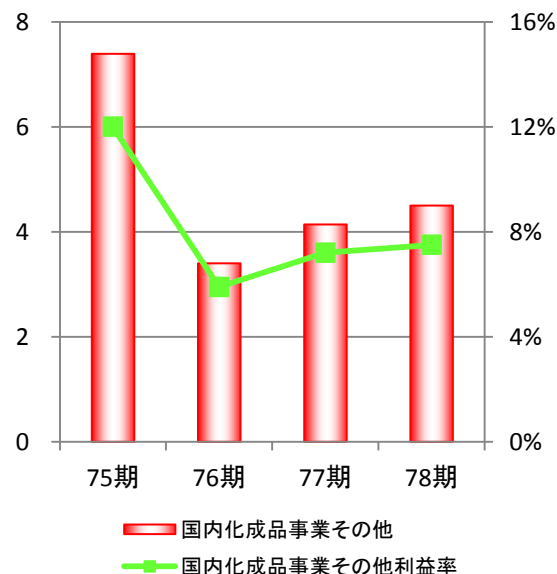
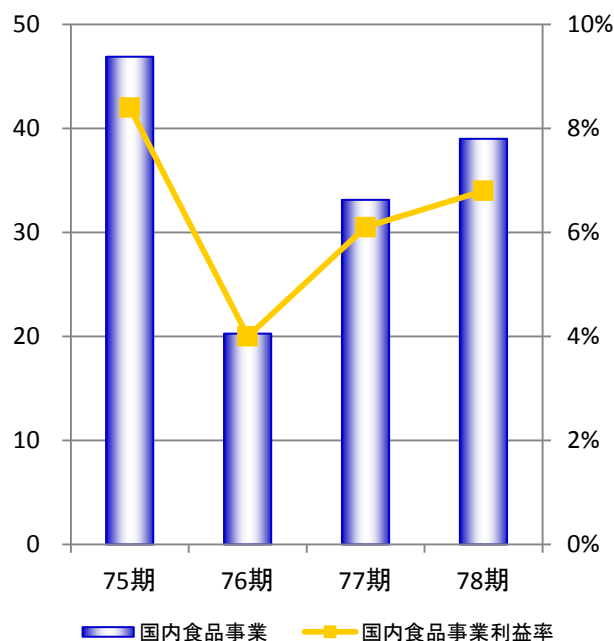
(単位:億円)

	75期 (2011/3)	
	実績	利益率
国内食品事業	46	8.4%
国内化成品事業その他	7	12.0%
海外事業	4	2.6%
調整額 (セグメント消去)	▲ 2	
合 計	55	7.2%

	76期 (2012/3)	
	実績	利益率
国内食品事業	20	4.0%
国内化成品事業その他	3	5.9%
海外事業	4	2.2%
調整額 (セグメント消去)	▲ 2	
合 計	25	3.4%

	77期 (2013/3)	
	実績	利益率
国内食品事業	33	6.1%
国内化成品事業その他	4	7.2%
海外事業	3	2.0%
調整額 (セグメント消去)	▲ 4	
合 計	36	4.6%

	78期 (2014/3)			
	予想	利益率	77期差	77期比
国内食品事業	39	6.8%	+ 5	117.7%
国内化成品事業その他	4	7.5%	+ 0	108.7%
海外事業	7	3.0%	+ 3	196.6%
調整額 (セグメント消去)	▲ 3			
合 計	47	5.5%	+ 11	130.6%



中期経営計画 事業戦略

共通

- ① 品質マインドを醸成する環境整備
- ② 中核事業でのローコストプロダクションの
確実な実行
- ③ グループ内のグローバルネットシステムの
強化

●「包装資材管理・技術センター」の設立



【78期通期】セグメント事業戦略① ー国内食品事業ー



中期経営計画 事業戦略

家庭用食品

- ① 主力商品群のシェア拡大と収益力向上
- ② 新製品上市による新市場創出の推進、
新用途開発による新規需要の掘り起こし
- ③ 海藻商品ブランド再興
- ④ 中核事業の周辺カテゴリー開拓

**三陸・国内産わかめの強化！！
露出を強化し、ブランドを復旧させる**

★海藻関連商品

●ふえるわかめ



●わかめスープ



●ご飯まわり



●海草サラダ



78期
通期

166億円（前期比 +9億円）

●ドレッシング

セレクトィシリーズに、
「じんわり生姜」を上市。



●『わかめご飯』のリニューアル

従来品より早く戻り、鮮やかな緑色の
わかめが大きく広がる「やわらかわかめ」を開発。



●素材力

TVCMやwebの活用、
医療機関サンプリング等による
商品認知率向上。減塩訴求。



②新製品上市

●『コリコリ茎わかめさん』

好評につき、
『鶏そぼろ』を上市。



【78期通期】セグメント事業戦略① ー国内食品事業ー



中期経営計画 事業戦略

業務用食品

- ① 主力商品群のシェア拡大と収益力向上
- ② 新製品上市による新市場創出の推進、
新用途開発による新規需要の掘り起こし
- ③ 海藻商品ブランド再興
- ④ 学校給食市場・CVS市場への
取組み再構築

78期
通期

205億円（前期比 +7億円）

- ドレッシング・・・『笑顔でランチ』のリニューアル、
新商品上市。＊
- エキス・・・付加価値品の拡販
- 学校給食市場・・・【海藻】安全面・品質面での優位性の
訴求。
【その他】ヘルシーファームシリーズや
笑顔でランチ等商品の拡大
- CVS市場・・・新素材・調味料等も活用した商品提案。
定期的なメニュー提案。海藻類・冷凍
海藻類の導入。

★冷凍海藻

収穫した「わかめ」をボイル後、急速冷凍し、
美味しさを封じ込める

→ これまでにない様々な特長を持つ
新しいタイプのわかめ

＊特長

- ・ハリのある色と味
- ・シャキシャキした食感 等



★笑顔でランチ

栄養士の意見を取り入れた
学校給食用ドレッシング。

＊特長

甘味料、アミノ酸、核酸を
使用せずに仕上げ、
より現在の学校給食にマッチ。



【78期通期】セグメント事業戦略① ー国内食品事業ー



中期経営計画 事業戦略

加工用食品用原料他

- ① 重点業界、顧客への販売取り組み強化と新規顧客の獲得推進
- ② 新用途、新機能製品の提案営業の推進による新規需要の創出
- ③ 健康機能食品市場の継続拡大

78期
通期

199億円（前期比 +6億円）

◆WEBサイト《健康成分ラボ》

当社が以前から続けている食品成分の機能性に関する研究成果を、分かりやすく紹介するサイトです。



業界別

パン

- ◇長期間やわらかさを保つ
- ◇ふっくらとしたパンにする



麺

- ◇ほぐれやすくする
- ◇コシを強化する



豆腐

- ◇消えにくい泡を消す
- ◇なめらかな口当たりの豆腐にする



【78期通期】セグメント事業戦略② ―国内化成品その他事業―

中期経営計画 事業戦略

国内化成品その他事業

- ① 既存系製品の水平展開と、
新規用途開発による新規顧客開拓
- ② 顧客ニーズを見据えた新機能性製品の開発と、
提案営業推進による新規需要の創出

78期
通期

60億円（前期比 +2億円）

業界別

食品包装

◇表面が水滴で曇るのを防ぐ



◆食品用ラップ

家電

◇金型からの離れを良くする



【78期通期】セグメント事業戦略③ ー海外事業ー



中期経営計画 事業戦略

食品用改良剤/化成品用改良剤事業

- ① 新興国市場の更なる開拓
- ② 生産能力の拡大
- ③ 付加価値製品の売上拡大
- ④ 顧客ニーズへの対応力強化
- ⑤ 世界競争市場でのコストリダクション推進

78期
通期

233億円（前期比 +54億円）

- インド駐在員事務所 → 販売子会社設立
- トルコ駐在員事務所 開設

- 天津理研維他食品有限公司
…化成品事業の強化・拡大
- RIKEVITA(MALAYSIA)SDN.BHD. …能力増強

- 各地域でのアプリケーションセンターの活用

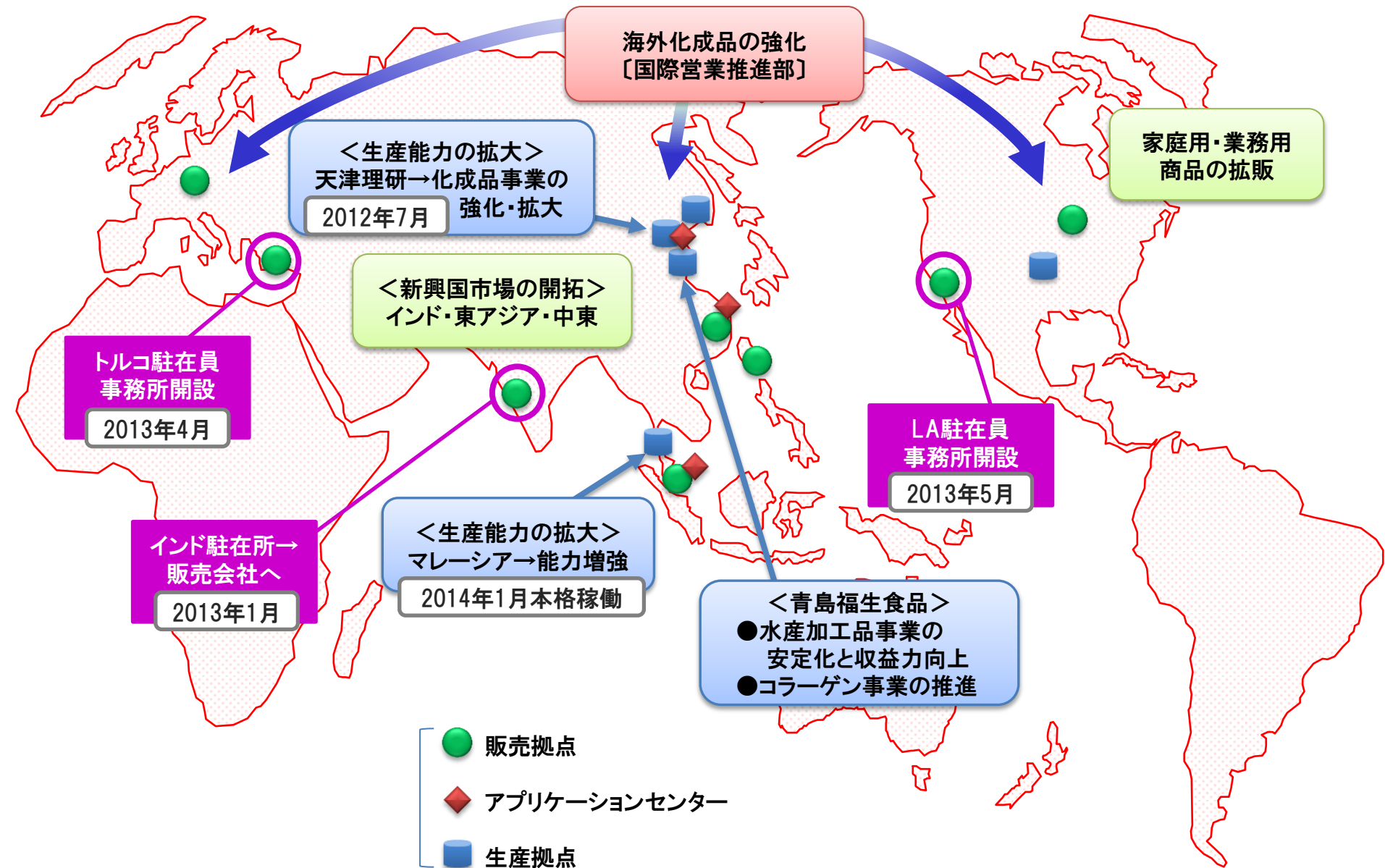
食品事業（青島福生食品）

- ① 水産加工品事業の安定化と
周辺分野への取り組みによる収益力向上
- ② 事業構造の改革推進、
新規事業開拓の推進

昨年、欧州地域の厳しい情勢の影響を受けるも
回復基調

- 「マリン・コラーゲン ペプチド」事業の推進

中期経営計画 ／ 事業戦略 —海外事業—



中期経営計画 ／ 年度別目標

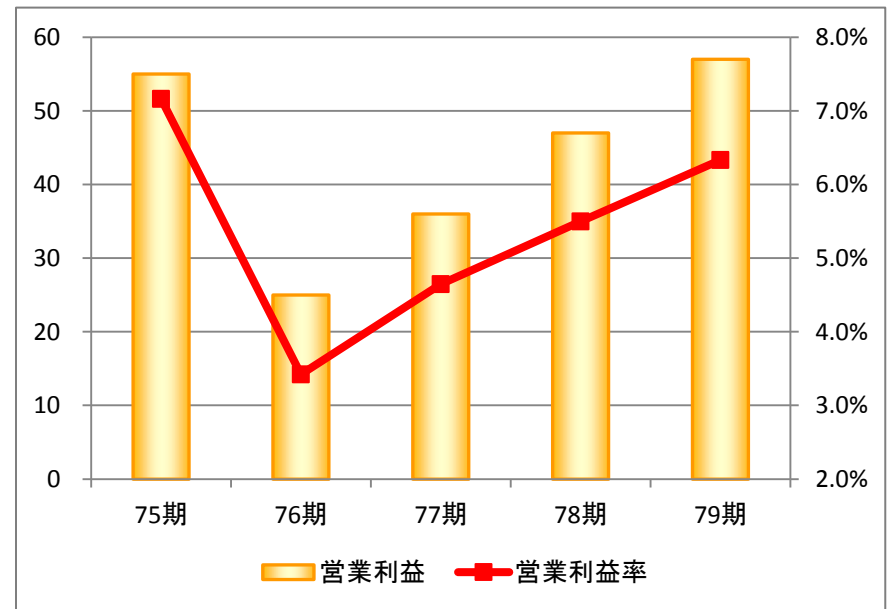
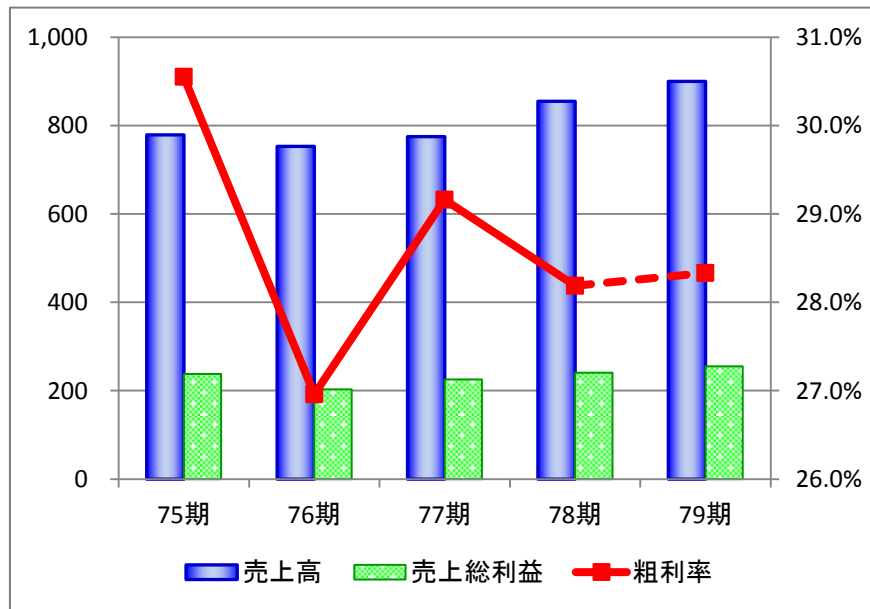


(単位:億円)

	75期 (2011/3)		76期 (2012/3)	
	実績	売上比	実績	売上比
売上高	779		753	
営業利益	55	7.2%	25	3.4%
経常利益	57	7.3%	28	3.8%
当期純利益	11	1.4%	14	1.9%



中期経営計画							
77期 (2013/3)				78期 (2014/3)			
実績	売上比	予想	売上比	計画	売上比	76期差	76期比
775		855		900		+ 146	119.4%
36	4.6%	47	5.5%	57	6.3%	+ 31	222.0%
37	4.8%	48	5.6%	58	6.4%	+ 29	204.5%
24	3.1%	28	3.3%	35	3.9%	+ 20	247.3%



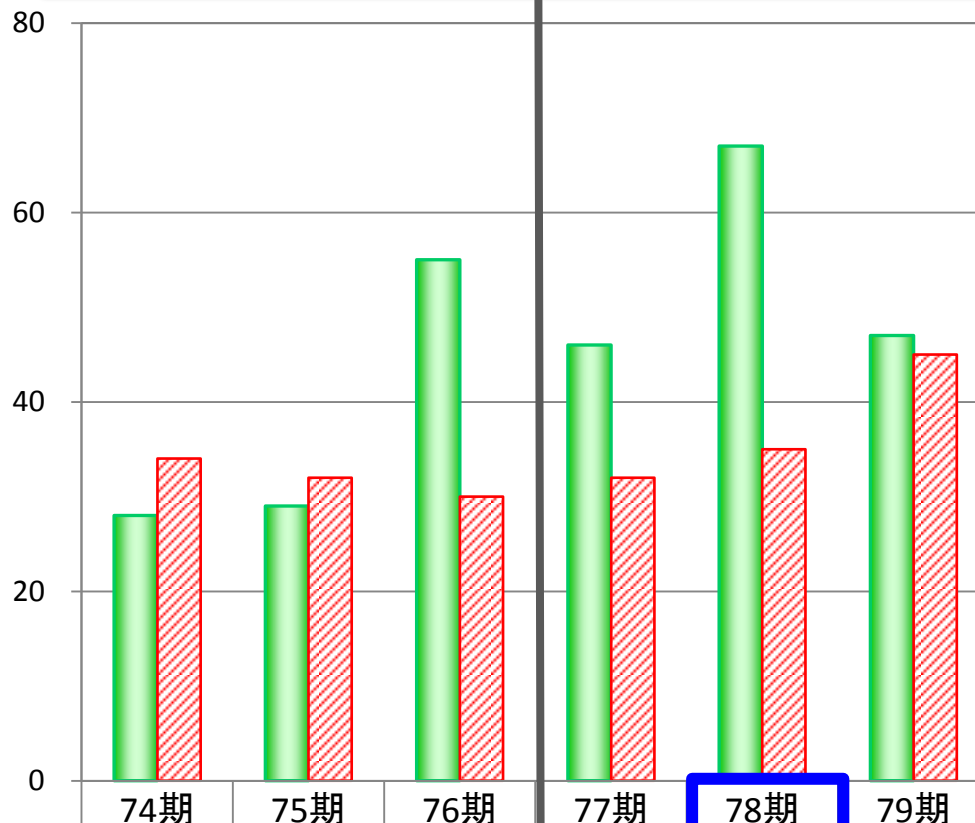
設備投資計画 および 減価償却費



(単位: 億円)

74～76期 設備投資 120億円

77～79期 設備投資 160億円



主な設備投資 (会社別)

理研ビタミン 100億

リケビタ・マレーシア 35億

理研食品 15億

青島福生食品 7億

■ 設備投資	28	29	55	46	67	47
▨ 減価償却費	34	32	30	32	35	45

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。

それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。

実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。



お問い合わせ先
経営企画部
毛塚・相原

TEL: 03-5275-5835